

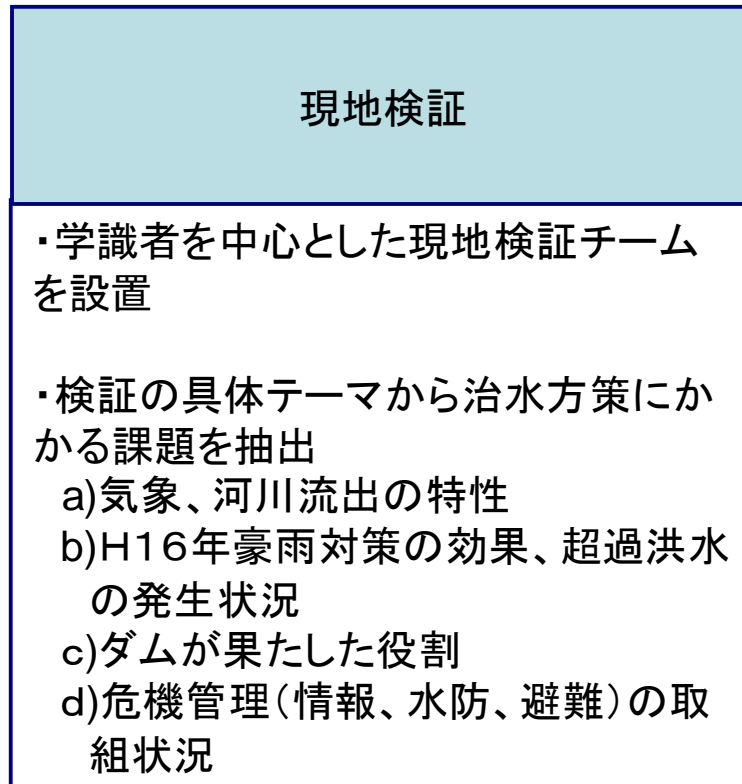
H23.7新潟・福島豪雨水害の検証 の進め方

平成23年9月22日

目的

- ・平成23年新潟・福島豪雨水害は今後の信濃川下流部の河川整備を検討する上で重要な事案を多く含んでいると考えられる。
- ・このため、新潟平野に注ぐ直轄大河川を中心として発生した水害を対象とし、河川整備、水防、避難に関する検証作業を実施し、新潟・福島豪雨を教訓として、新潟平野における今後の整備に関する基本的な方向性を検討するとともに、今後の治水方策を探る。

【第1段階】



* 10月末を目途に検証作業を行う

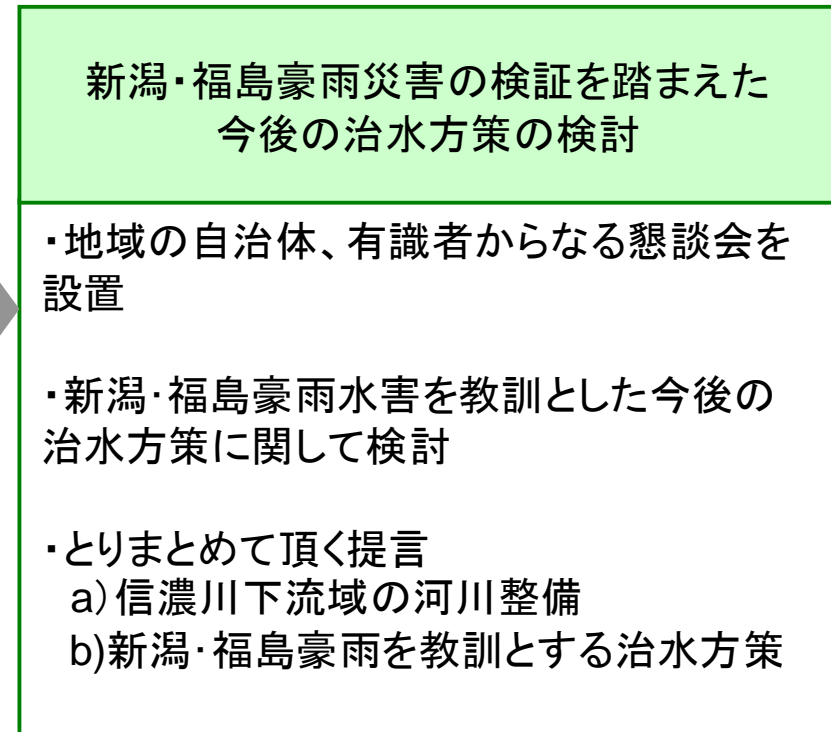


関連する調査等を参考・反映

・新潟県 H23.7豪雨災害対策検討委員会
(五十嵐川災害復旧方針検討)

検証結果の反映

【第2段階】



* 年内を目途に提言をとりまとめて頂く

H23.7新潟・福島豪雨水害の検証【体制】

H23.7新潟・福島豪雨水害 現地検証チーム

(敬称略、五十音順)

氏名	所属
泉宮 尊司	新潟大学 工学部建設学科土木工学教授
伊藤 弘之	国土交通省国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 水害研究室長
関谷 直也	東洋大学 社会学部准教授
服部 敦	国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室長
深見 和彦	土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ 上席研究員
細山田 得三	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授
丸井 英明	新潟大学 災害・復興科学研究所教授
安田 浩保	新潟大学 災害・復興科学研究所准教授
陸 旻岐	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授

H23.7新潟・福島豪雨災害の検証を 踏まえた治水方策に関する懇談会(仮称)

【地方公共団体の代表】
(新潟県、新潟市、三条市、見附市)

【学識経験者】
(現地検証チーム代表者を含む)

* 具体のメンバーについては
調整中